



前期終盤のスタートです

30日間の夏休みを終え、今日から前期終盤が始まりました。各種駅伝大会、お祭り、前期末テスト、郡新人総体、すずかけ祭など行事が続きますが、計画的に見通しをもって前期をしっかりと締めくくってほしいと思います。今日の夏休み明け集会では、次のことを生徒たちに伝えました。

30日間の今年度の夏休みはどうでしたか。30回の今日の中で、自身の感情や行動を自分でしっかりとコントロールし、自律心を磨くことができたでしょうか？

前期の締めくくりに向けて、始業式や入学式で皆さんにお願いした三つのうち、夏休み前集会で話題にしなかった、もう一つのことを確認したいと思います。

それは「間違い、失敗や思いどおりにならないことがあっても、誰かのせいや何かのせいにしない」ということでした。思い出してくれましたか？

人間ですから、誰にでも間違いはあります。失敗したり思いどおりにならなかったりする時もあります。失敗しなかった一日は、何も挑戦できなかった一日なのかもしれません。

間違えたり失敗したりしても、何度でもやり直せばよいのです。失敗は挑戦や行動したことの証ですし、例えその時は成功しなくても成長や経験として自分自身に積み重なります。

間違いや失敗した後が一番まずいのは、誰かのせいや何かのせいにして、その間違いや失敗の原因と向き合わないことだと思います。誰かのせいや何かのせいにする前に、その行動を自己決定した一番の当事者として、何かを変えて再び行動や挑戦を続けることが大切だと思います。

また、どうしても思いどおりにならない時には、行き詰まる前に誰かに助けを求められることも、多様で複雑な社会を生き抜くために必要な力の一つだと思います。困った時に、助けを求められる誰かを、この後もたくさん見付けてください。

結びになりますが、今日から学校での集団生活が始まります。日々の生活の中で、角中の約束「嫌だなと感じる基準は、人それぞれ違うということを理解する」と、目指す自分の姿「相手の感じ方を想像しながら行動したり、話したりできる自分」を全員で大切に実践していくことで、多様性の尊重を実現しましょう。

角館町割400年記念シンポジウム

1620年に芦名義勝による都市計画で整備された城下町「角館」の町並みが、400年の歳月を越えて今なお生き続けていることを記念し、7月31日（日）に角館交流センターにおいて“角館町割400年記念シンポジウム”が開催されました。

この記念すべきイベントに本校を代表し、K.Rさん、S.Aさん、T.Rさん、S.Cさん、N.Kさん、M.Nさん、M.Cさんの7名が参加し、パネルディスカッションで町並みを維持するために本校生徒が行ってきた取組の紹介、シンポジウムに参加しての感想、次世代の担い手としての決意などを力強く発表してくれました。

終了後には、シンポジウムに参加していた方々から「次の世代を担う若者の頼もしさを感じた」というような賞賛の声をいただきました。地域の方々の「角中があつてよかった」につながった一日になりました。

代表で参加してくれた7名の皆さん、ありがとうございました!!

栄光・受賞の記録

◇東北中学校剣道大会

- ・男子個人戦
第5位 O.Sさん

◇全日本中学校通信陸上競技大会秋田県大会

- ・男子2/3年1500m
第8位 S.Yさん

◇全県席書会都市大会

- ・半紙の部 銅賞 S.Oさん

◇わたしの主張2022県南地区予選大会 発表原稿審査

- ・入選 K.Nさん
題名：「理想でいようとすること」
- ・入選 S.Hさん
題名：「難病と理解」

*2名は、8月30日（火）に仙北市民会館で開催される県南地区予選大会に出場します。

引き続きの感染予防対策を!!

県内及び大仙保健所管内の新型コロナウイルス感染症感染者数が、高止まりの由々しき状況が続いています。引き続き、感染予防対策に細心のご配慮をお願いいたします。